



利用者カードをお持ちの方で、住所や電話番号などを変更した方は、市中央図書館までお知らせください。



今月の休館日

全館休館日…3月9日(月)・23日(月)

牛久市読書団体連合会総会記念講演

徒然草を書いた兼好法師はどんな人？

日時 4月11日(土)午後2時～

場所 市中央図書館視聴覚室(2階)

講師 石塚秀雄氏(日本教育大学院大学教授、慶応義塾大学非常勤講師)

入場料 無料(席は自由です)

主催 牛久市読書団体連合会

今月の行事予定 <場所：市中央図書館>

◆映画上映会◆ 3月15日(日)午後2時

『審理(裁判員制度広報用映画)』

◆牛久おもちゃ病院◆3月15日(日)午前10時～正午

*おはなしよんで…毎週水曜日午後2時

*おはなし会…毎週土曜日午後2時

*おはなしとんとん…毎月第2日曜日午前11時

*うさちゃんきいて…今月は第2金曜日午前10時30分



↑芋銭(写真右)と廣瀬の記念写真(小川耒太郎氏所蔵)

使用は、より現実的となりま
す。一方、芋銭研究において、
当時の芋銭の交友人名が明ら
かにされることはありません
でしたので、この点でも画期
的な発見といえるでしょう。
小川芋銭研究センター―

北島健

「彰技堂」を修了した明治18年5月31日以後、芋銭の足跡に関する最初の資料として、芋銭あての尾崎行雄の書簡(明治23年)があることを、既にこの連載で紹介しました。

最近、小川家の芋銭資料中に、この空白を埋める1枚の写真を見つけた。写真裏の芋銭メモ「明治二十一年九月五日撮影 廣瀬孝次小川茂吉両影」により、立っているのが芋銭、座っているのは廣瀬孝次であることが分かりました。撮影地は、東京上野(大江写真館)です。

問題は「廣瀬孝次」とは誰なのかです。あらゆる資料を調べた結果、『洋画先覚本多錦吉郎』中の、彰技堂修了者名を列記したページに、廣瀬孝次の4文字をやっと見つけることができました。

明治21年当時、写真館に向いて記念写真を撮影したのには、芋銭と廣瀬にとって相応の事情があったのでしょう。あるいは、「彰技堂」で絵を学んだ同士だから、絵画に関係することだったのかもしれない。

もし、なんらかの形で絵画にかかわっていたとすれば、号「松陽」などの

聖 小川 芋 銭

再び芋銭を考える⑤

前回は、「松陽」などの新たな号について記しました。今回は、画学専門校「彰技堂」修了後の芋銭の足取りについて考えてみます。この時期は、ちょうど号「松陽」を使用していたころと重なります。

「彰技堂」修了の後、朝野新聞の客員になるまでの数年間、芋銭がどこで何をしていたかを資料によって裏付けることは、現時点ではできません。